

関係各位

一般社団法人 電子情報技術産業協会
テレビネットワーク事業委員会
委員長 川村 秀昭
テレビ機器専門委員会
委員長 今井 隆洋

4K 映像^{※1}表示が可能なテレビジョン受信機の呼称について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会諸事業に格別のご協力を賜りますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、テレビネットワーク事業委員会では、消費者の誤認や混乱を未然に防止し、健全な普及促進に資するため、標記について下記の通り取り決めを行いましたので、貴社関係部署に周知徹底方よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 目的

4K映像^{※1}を表示できるテレビジョン受信機の呼称について、語句の定義を明確にし、消費者に対して一定の判断ができるための情報を提供する。

2. 適用範囲

1) 適用機器

4K映像^{※1}を表示できるテレビジョン受信機

2) 表記対象

各社のカタログ、ホームページ、広告媒体及び取扱説明書等とする。

※1… 4K映像とは、

水平3,840画素×垂直2,160画素、または水平4,096画素×垂直2,160画素を有する映像をいう。

3. 「4K対応テレビ」

デジタルハイビジョンテレビ^{※2}の定義に加えて、定義1を満たす場合、「4K対応テレビ」と呼ぶ。

定義1

- ・水平 3,840 画素以上かつ垂直 2,160 画素以上を有する表示デバイスを搭載していること
- ・60/1.001 (≒59.94) Hz 以上のフレームレートで表示が出来ること

(注) 「4K対応テレビ」の呼称を使う場合は、その近傍に「4K」の意味を説明する文章(例えば、画素数 3,840×2,160 の動画に対応しています。)を付加することを推奨する。

4. 「4Kテレビ」

デジタルハイビジョンテレビ^{※2}の中で定義1に加えて、定義2を満たす場合、「4Kテレビ」と呼ぶ。

定義2

- ・4K映像の放送を受信可能

(注) 2012年10月時点、4K映像の放送は確認されておりません。
(定義2を満たすかどうかの判断基準は、別途審議する予定です。)

※2…「デジタルハイビジョンテレビ」とは、平成15年12月12日発行の「デジタル放送及び同受信機の呼称・定義について」(15JEITA-テ家第409号)で定められており、下記の定義を満たすものの総称をいう。

定義

- ・デジタルハイビジョンチューナー内蔵
- ・デジタルハイビジョン映像信号を表示できる
- ・アスペクト比(有効画面):[16:9]を基本とする

5. 適用時期

各社適用可能な時期から実施

以上